

地域づくりネットワーク埼玉県協議会会員情報

団体名	まちづくりネットワーク蓮田（蓮田市）	
DATE	代表者	飯野 和之（いいの かずゆき）
	事務局及び情報誌等送付先	飯野 和之（いいの かずゆき） 〒349-0111 蓮田市東2-2-18 TEL 048-768-1927
	構成員	25人（男15人 女10人）
	活動日	定例会：月1回程度 各事業は作業部会制で、随時開催される。
	活動場所	蓮田市中央公民館
	情報誌	会報「ネットワーク」（年6回） 発行部数200部程度（会員及び市関連部局等に配布。）
設立のきっかけ	平成5年2月、地域を活性化させるためのリーダーをどう育てるかというテーマで「人づくりフォーラムinはすだ」を開催した。このフォーラムは市民による手作り手弁当のまちづくり研究集会であり、まちづくりに関心のある90人程のスタッフが日夜努力した結果、全国から500人程の参加が得られ、掘り下げた討論が交わされた。当会はこのフォーラムをきっかけに設立されたまちづくり研究会である。	
活動の内容	当会の目的は、蓮田市における「まちづくり」の推進、並びに「まちづくり」施策への協力である。目的を達成するための事業として、まず第1に、市民と行政との有機的な連携を強めながらまちづくり政策を立案し、それを実現する運動を展開するための事業、第二に、市民団体間の連絡、交流の場を提供し、その連帯を進めるための事業がある。そして、会の活動の大きな柱として「蓮田市のまちづくり政策研究」、「イベントなどを通じたまちづくりの実践」、「他の地域での研究集会への参加交流」の3つを軸にしている。具体的な事業としては、まず、「さわやかトーク」と名付けた公開パネル討論会がある。これは、より多くの市民の意見を集約することを目的として、身近で最も関心のあるテーマを選んで、参加者全員でさわやかに討論するものである。これまで、「東口駅前広場をどうするか」や「蓮田市民まつりを市民のまつりにしよう」、また、高齢化、防災、環境等の問題について議論してきた。	
エピソード	地域づくり情報を提供するため会報を発行しているが、回数を重ねるうちに紙面がマンネリ化し、会員に対して有益な会報でなくなってきた。これは、会報づくりを担当スタッフに任せきりで、会全体の責任として作業のフォローをしてこなかったためである。この際思い切った方針転換を図り、地域づくり情報満載で、多くの会員に愛され、地域からも注目される会報への刷新を検討中である。	
今後の計画目標	当会は、「人づくりフォーラムinはすだ」というシンポジウムから入ってきたせいか、現状の問題点、将来に向けての「理念」そして「方法論」まで行くのだが、そこから「行動」というとなかなか前に進まないケースが、当初から多かったように思う。確かに、大上段に構えた「まちづくり論」は大切なものではあるが、これからは、地域の中で当会ができることから、すぐやってみることだと思う。どんな小さな事でもまずやってみる、そのことのすべてが、まちづくりにつながるのだと思う。	
年間行事	8月	蓮田市民まつり
	11月	蓮田マラソンスイーツバトル
	1月	定例総会
	3月	・「さわやかトーク（公開パネル討論会）」開催（年2回程度）
これまでの歴史	平成5年2月	「人づくりフォーラムinはすだ」開催
	7月	「まちづくりネットワーク蓮田」発足
	9月	「第1回さわやかトーク（公開パネル討論会）」の開催（以後毎年3回程度実施）
	10月	「蓮田市民まつり」についての提言書を市に提出
	平成6年4月	「第1回花と緑の祭典」開催（以後毎年4月に実施）
	5月	「第5回蓮田市民まつり」運営団体となる
	8月	「第5回蓮田市民まつり」開催（以後毎年8月に運営団体として参
	平成8年10月	「いきいきふれあいフェスティバル」開催 （以後毎年10月に協力団体として参加）
	平成9年3月	「第1回元荒川散策会」開催（以後毎年3月に実施）
	平成10年10月	「よみがえれ元荒川の会」の設立に協力
団体PR	まちづくりといえば、ハード面ばかり目が行きがちだが、まちの環境（特に心の部分）が変わることから始め、ハードづくりにつなげていく考え方の重要性について、このネットワークに入って学んだような気がする。地域住民の注目や関心を集め、参加しやすいソフト活動を大切にして、その熱い盛り上がりの中から、まちにふさわしいハード整備を目指していくまちづくり手法がこれからは大切である。	